

第3回ワークショップ発表

第1部：住民投票の実施決定の考え方（発議から実施決定までの手続）

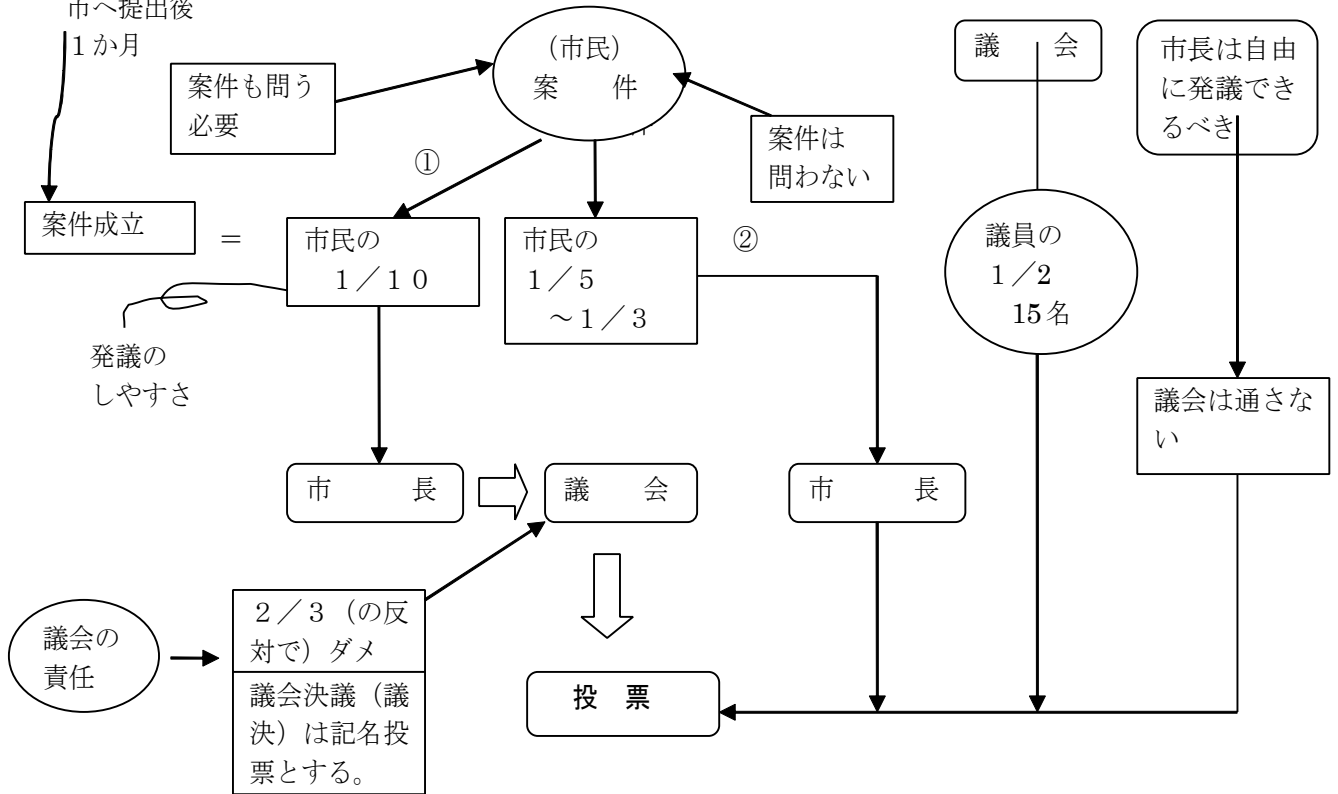
第1グループ

| | |
|---------------------------|---|
| 要件が1満たされれば実施する考え方（住民も市長も） | <p>①議会で話し合えないから住民投票するのだから議会で否決されるのが大半だとすると議会の議決はいらない。</p> <p>②有効署名数の重み。決して議会軽視にはならない。</p> <p>③基本的な条件が充足されたらストレートに。⇒慎重で深く多様な論議をするためにパーセンテージ（必要な署名数の）は高い方が良いが、議会での否決というフィルターは一切必要ない。</p> <p>④住民投票なので住民の発議で行える。チェック不要</p> <p>⑤住民（自分が）→署名（同意者の協力）→市長 議会に問題意識がなかったということ。</p> <p>⑥住民 署名 ・悪法化するものは・数の多さ・意見を集める</p> <p>⑦結果として議員は→ストレートにすることによって議員が市民投票条例を実行しないように頑張る。</p> |
| 中間（に位置するもの） | <p>①基本的条件を満たされれば実施、ただし、悪意を持つ人に利用されるかも</p> <p>②分別するため、会議みたいなもの 専門家、市長、議員、意見、大きく動くようになる？</p> |
| （要件のほかに）手続を加味する | <p>①人選はよく考えなければならないという難しさはあるが、専門知識のある人達による第3者機関が必要</p> <p>②議員は市民の意を分かりやすく受け止めているか、はなはだ疑問だから専門分野の人の参加が必要</p> <p>住民→[学習会・公開討論会]を行う→署名→市長提出→実施 市長→[学習会・公開討論会]を行う→発議→実施 議会→[専門家・学識経験者の機関を置く]→発議（議決）→実施</p> |

【住民による発議の要件】

| 1 / 20 (7,300人) | 1 / 10 (14,512人) | 1 / 6 (24,186人) | 1 / 5 (28,000人) ~ 1 / 3 (48,000人) |
|---|--|--|--|
| <p>①1/20 直接請求が1/50 署名期間が短いだろうから（1か月）</p> <p>②集めやすい</p> <p>③やりやすいことが大切</p> <p>④1か月という限定された期間の中ではこの位の数が実現可能</p> | <p>① 1/10 年齢層（高齢者）を考えると容易に署名に参加できる。</p> <p>② 1/10 14,512人、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題意識が問われる。 ・住民の参加意義の目安 ・住民投票 <p>③集めやすい</p> <p>④高齢者であっても参加しやすい。</p> <p>⑤不可能な数字でないことで住民の意識が高まっていく。</p> | <p>① 1/6 市民が身近な問題があるなら早く集まるのでは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これくらい必要 <p>②市民に影響のある問題である以上、この位の数は集めなければ、また、集まるはずだと思うので。</p> <p>③1つの企業の利害だけで投票が始められないように</p> | <p>① 要件 1/5（苦小牧 28,000人）</p> <p>②安易な判断をさけるためにはハードルが高い方が良い。</p> |
| できるだけやりやすい ← | | → 重大な課題で・・・慎重を要するハードルの高さが必要 | |
| <p>★ 有効投票数に達しなくても必ず開票・公表をすることを明文化してほしい★</p> <p>⇒ こうすることで、投票妨害を避けることができる ★</p> | | | |

第2グループ
市へ提出後



第2部：発議の資格者・投票の資格者

第1グループ

| 外国籍 | 16歳 | 18歳 | 20歳 |
|---|--|--|--|
| ①税金を払っている以上、意見を言う権利を有する。 ②住民登録があり3カ月以上滞在 ・国際的広い視野 ・住んでいる以上、(有する)権利 | ①16歳以上 理由： ・社会人もいる、 ・結婚もできる、 ・大人としての権利を認める。 ・環境として整える条件付き ②環境を整えるという条件付きで ↓ 大人としての正しい判断が出来る学習の機会を設けること | ①環境問題が優先され、街の活性化を考えて18歳以上 ②若い人の参加で街の活性化がされる。 ③しかし判断には社会経験が必要なので18歳 | ①20歳以上(有権者の年齢) ②今の18歳を見ていると心配 ③お金がかからず実現できる(選挙人名簿の管理)。 |
| | ・新しい発想が生まれるかもしれない。 | ◎大学生としての自覚・判断を促すことができる。 ○正直、何歳でもいいと思うが、あまり早いと親の考えに左右されがち。独立した自分の考えを持つるのは18歳 | ○時間がない中では学習する時間が少ないので、一定の社会参加の経験が必要 |

第2グループ

